

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入) 平成 23 年度

事業所番号	2772402125		
法人名	社会福祉法人美郷会		
事業所名	グループホーム美郷		
所在地	大阪府枚方市西招提町1253番地		
自己評価作成日	平成 23年 11月 3日	評価結果市町村受理日	平成 24年 2月 16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2772402125&SCD=320&PCD=27
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 23年 11月 19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

◎園芸で季節の花や野菜を植えて、より季節感を感じて頂いている。
◎職員と共に日々のおやつや購入等の買い物や、園芸の花を見る等、個別に外出の機会を作っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

社会福祉法人が運営する特別養護老人ホーム1階に、デイサービスセンターと隣接するグループホームです。扉1枚隔てたデイサービスセンターとの交流が盛んで、クラブや行事への参加は利用者のうおいのある暮らしに繋がっています。敷地内に連携している医療法人の病院があり、医療面でのサポートにおいても安心できるホームです。開設して7年、利用者の重度化への対応という課題に対しても、医療との連携で学習会を積極的に実施し、職員が力をつける取り組みをしています。管理者と職員の風通しがよく、チームワークの良さが、アットホームな雰囲気を作っています。利用者・家族への満足度アンケートを行う等、サービスの質の向上に積極的に取り組んでいるグループホームでもあります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会議や個別のカンファレンス時には理念も念頭に入れています。又、その年の目標を作り、日々の取り組みに反映できるよう心掛けています	「①一人ひとりの個性や生き方を尊重します。②一緒に暮らしを支えあいます。③地域との繋がりを大切にします。」をグループホームの理念としています。職員は名札の裏に理念カードを入れ、常に確認するようにしています。今年は皆で考え、「積極的に利用者さんに関わる」を目標にしています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	出入りは自由に出来ています。毎日買物に出掛けてなじみになる店もあり、車椅子で行っても店の扉を開けにきてくれる。	地域の行事に参加しています。最近では、「高齢者の集い」に参加しました。保育園の園児や小学校の児童との交流もあります。毎日おやつを買いに行くコンビニでは、車イスでも入れるように、扉を開けて待ってもらえる顔なじみの関係ができています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている	場所が民家のかけ離れた所にあり交流がしにくいので、地域からの要望や役に立つ面があれば考えたいと思う		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・家族の意見を聞く機会が来ています ・民生委員から地域の行事を知らせてもらい参加しています ・地域包括支援センターからの意見も反映しています	民生委員・家族会代表・地域包括支援センター職員等の参加で、2ヵ月に1回開催しています。グループホームの状況や取り組みの報告を行い、参加者からは、地域の行事などの情報をもらっています。地域包括支援センターの主催した、認知症サポーターの勉強会に家族会からも参加することができました。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターが主催し地域のグループホームが集まり、意見交換会を行ないました	市の担当者とは、連携を図っています。グループホーム連絡会には、市の担当者や地域包括支援センターからも出席してもらっています。平成23年12月から、市内のグループホームが集まり勉強会を開催します。勉強会には、現場のパート職員にも出席してもらう予定です。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内勉強会で定期的に研修している	身体拘束や高齢者虐待に関する人権研修を実施しています。玄関は開いており、チャイムで出入りを察知しています。デイルームに続く扉は自由に出入りができます。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内勉強会で定期的に研修している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域包括支援センターより権利擁護の研修を受け、勉強会を行ないました		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明を行い、変更時には新しく契約書を取り交わしています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を設置し苦情・要望あれば気軽に意見を入れてもらい、苦情・要望書を作成し会議にて公表している	家族の面会時には日頃の様子を伝えています。ふれあい誌「陽だまり」を年3～4回発行し、行事、職員の異動等の情報を写真入りで載せています。家族会による花植えが行われ、利用者を楽しんでもらえました。また、利用者・家族に満足度調査を実施し、サービスの質の向上に活かしています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ご意見箱の設置、面会時や電話での苦情については書類を作成し、改善に努めています	毎月の会議には、事前に職員が話し合いたいことを尋ね、議題の項目にあげています。管理者は、普段から職員のことを気にかけることを大切にしています。職員の聞き取りでも、自由に意見が言えると聞くことができました。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	悩みや対応が分からないなど困っているときは上司や管理職に気軽に相談するようにしてもらったり、管理者からも声かけしたりするようにしている 年2回勤務評価を行い、それぞれの努力につき評価をするとともに業務に対する考えなども聞くようにしている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で毎月1回研修があり、グループホームでも2ヶ月に1度研修を行なっています。必要に応じて外部研修に参加し、勉強会で伝達しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホームが集まり、問題点や取り組みについて話し合いを持ち、見学もできました		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人と面会し事前にホームを見ていただき話し合いをしてきた		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学时、申し込み時から聞く機会を作っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他のサービスや種類など必要性を考え提案している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の生活の場で、できる事を見つけて一緒に取り組んだり、話題を提供して会話する時間を持ったりしています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族にも自由に来て頂き、その時に相談し、何かあった場合、都度連絡を取るようになっている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近くから入居した人は家族や知人も見えるが他市の方が多く訪問者は少なく支援も少ない	グループホームを退居し、特別養護老人ホームに入所された方の家族が、今でもホームへお茶を立てに来てくれています。近所の方が訪問されたり、友達から電話があったり、絵手紙が届いたりする利用者もあり、馴染みの人との関係が途切れないように支援しています。また、入居後の利用者同士の新しい関係も大切にしたいと考えています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの気が合うグループに分けて座ってもらい、利用者に合った対応に心掛けている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	職員は必要に応じて接するように心掛けている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・希望や意向を聞き、実現できるか職員間で話し合っています ・意思疎通の困難な方は、家族から情報を得ています	日々の生活の中で聞き取った情報を詰所会議等で話し合い、職員同士が共有しています。以前、利用者が行っていた園芸を、現在は利用者自身ができなくなり、職員が意思を受け継いで、代わりに行っています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の時点でかなり詳細に聞くようにしている又、お好きな音楽等をお聞きし持参して頂き、自室で聴いて頂いたりしています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の個性を把握してそれぞれの利用者に合った生活パターンを考慮している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各担当を持ちアイデアを出し合い、詰所会議やカンファレンスの場で話し合ったり家人からも意見を尋ねたりしている。又、管理栄養士や主治医等ともカンファレンスを行なっている	毎日担当者がモニタリングも行い、総合的なまとめを毎月実施しています。毎月詰所会議のカンファレンスの中で情報を共有し、課題も話し合い、現状に即した介護計画を確認しています。少なくとも6ヵ月毎に計画を見直し、アセスメントを行い、フローチャートも利用して課題を分析しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に必要な記録をするよう努めている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に対応するニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・同法人グループの病院、在宅医療部と連携し緊急時に対応している ・同施設内に併設のデイサービス、特養とも連携をとっています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の祭りや体育祭、運動会などに参加したり地域の民生委員や老人会・自治会などと連携がある		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1度主治医が往診し、必要であれば専門医が往診又は受診しています	入居前からかかりつけの医療機関を希望される利用者は、引き続き通院しリハビリも行っています。協力医療機関から主治医が2週間ごとに往診に訪れ、専門的な診察が必要であれば受診もできます。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設特養の看護師が非常勤で診ているが何かあると同法人の在宅医療と連携しているので安心である		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	併設の同法人医療機関が直ぐ横にあり連携が取りやすく退院支援も協力的である		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期ケアについて説明し、現時点で希望は確認しています。現在1名の方が看取りを行なっています。	看取りを希望される利用者は、希望や対応方法を家族等と話し合います。また、説明確認を行った上で、主治医を含めて同意書を交わしています。急変時の対応方法や夜間の連絡体制を状態によって職員が適切に対応できるようにマニュアルが作られています。現在、看取りの利用者への支援を実施中です。	重度化に対応するために研修も予定されていますが、日々のケアに活かされるように、「介護技術」の研修も実施し、利用者の安心・安全な暮らしの支援に繋がっていくことが期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師を交えた勉強会に参加し、参加できなかった職員には回覧周知している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内の訓練は行っている。緊急時には隣接する佐藤病院等からの応援体制を取っている	非常時対策マニュアルを作成し、併設施設と年2回、消防訓練を実施しています。訓練では消防署に通報も行い、利用者と共に実施しています。同時に防火機材の点検も実施しています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々のプライバシーを尊重し、個人情報を読まないよう誓約書を交わしています	個人情報に関する規程等が定められ、職員は周知しており、誓約書を交わしています。日常のケアの中でも、プライバシーを大切にして支援しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけしている	本人との会話を重視して話を聞くように努力している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できるだけ体調や希望にあわせられるよう配慮しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望や好みに添うようお手伝いしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	併設の厨房から運ばれ盛り付けのみ行っています。また、月に1回程度ホームで調理しており、好みの献立を取り入れるようにしています。	3食とも併設の厨房から運ばれたものを盛り付けしていますが、月に1回は希望を聞いてグループホームで作っています。重度化で介助や見守りの必要な利用者が増え、職員が利用者と一緒に食事することが難しい現状です。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をして いる	食事量、水分量を記録し注意していま す。必要な方には食材を通常より細か く切り提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている	自身で出来る方にはしてもらい支援の 必要な方には夕食後口腔ケアの介助 をしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を 活かして、トイレでの排泄や排泄の自立 にむけた支援を行っている	見守りや介助してトイレで排泄してい ただくようにしている	トイレ誘導を基本にしています。昼夜ど こにいてもトイレでの介助を頼むことが できるように、利用者の希望により笛 で知らせる方がいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる	予防の為、水分摂取、体を動かすよう 取り組み食物にも気をつけている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都合で 曜日や時間帯を決めてしまわずに、 個々にそった支援をしている	基本的には午前中に入浴をしてもらっ ています。意思確認できる方には確認 を行っています	平均週3回の入浴です。入浴日は決め ていますが、無理強いせず本人が入 浴したい時に入ってもらいます。座位 が困難な利用者は、併設のデイサービ スセンターの特別浴で入浴してもらい ます。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	入居者に合った生活リズムを大 事にしながら対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る	医師、看護師からの情報、薬情 で確認し注意している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	囲碁や生け花、茶道等趣味を活 かせる場を設けています。食器 洗いや洗濯たたみ等して頂いて います。買物にも積極的に行っ て頂いたり、菜園での野菜の収 穫もして頂いています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。又、普段は 行けないような場所でも、本人 の希望を把握し、家族や地域の 人々と協力しながら出かけられ るように支援している	中庭への散歩、買い物、外食、 行事等で外出しています	季節毎の外出に、菖蒲や菊を見 に行っています。また、利用者 の希望に沿って外食にも出か けます。日常的には、おやつを 買いに地域のコンビニに出か けています。広い庭の散歩は、 外気に触れるいい機会になっ ています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している	お金を所持している利用者に対 して、希望に応じ買い物の支 援などを行なっている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望がかなえるように支援している		
52	19	○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁紙の飾りやカレンダーで季節感を出し、中庭に洗濯物を干しています	リビングは広く、テレビやソファがゆったりと配置されています。廊下にはところどころに椅子が置かれ、一人で過ごすスペースが作られています。リビングの壁には、手作りの季節感のあるカレンダーや保育所の園児からの可愛いハガキ等が掲示されています。玄関を出ると門まで、遊歩道もついて散歩ができる広い庭園があり、季節の花木が植えてあります。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になれる場所や談笑できるソファがある		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から本人が使い慣れた物を持参して頂いています	居室内にはベッド、クローゼットが設置され、洗面所が付いています。自宅からタンス・テーブル・テレビ・写真等、使い慣れた馴染みの品が持ち込まれ、個性豊かな居室です。長年、書道続けてきた利用者の居室には、作品が飾られています。利用者の誇らしげな表情に、日々の個別ケアの成果が表れています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自宅から本人が使い慣れた物を持参して頂いています		